

Kamu Kamu News

カムカム・ニュース

2019.10 vol.79

10月17日(木) 三重県伊賀市立柘植小学校
6年生の皆さんが、ヨリタ歯科に来て下さいました!



今年の柘植小学校の修学旅行イベント
および、職業体験のテーマは

『6年ヨリタ組 ~ 今からあなたは
歯医者さんです ~』でした!

今年で、10回目となるイベント。
歯に関するクイズや、様々な歯科の職業体験
通じ、歯の大切さ、そしてチームワークの
大切さを学んでいただきました!

今回の歯科体験で、修学旅行の楽しい思い出
のひとつになれば...と心から願うスタッフ一同
でした。

また来年も、柘植小のみんなに会えますように。



柘植小学校の
皆さん
また来年も
会いましょうね!



数字で見る歯科医療

今回のシリーズは、数字で見る歯科医療です。
第一回は、8020についてです。

歯科では、8020運動を昔から行っています。

ご存知の方も多いと思いますが、80歳までに自分の歯を20本残しましょうという歯科界の啓蒙運動です。

地域によって、達成者が表彰されることもあります。

20本自分の歯があれば、ご飯を食べるのに問題がないと言われています。

平均寿命がおおよそ80歳と考えて、その時に20本歯があれば何でも美味しくたべられて、満足な食生活が送れます。

では、まず大人の歯は何本あるでしょうか。

正解は、親知らずを含めて32本あります。
親知らず4本を除くと、28本あります。

皆さんは、今まで何本歯を抜きましたか。

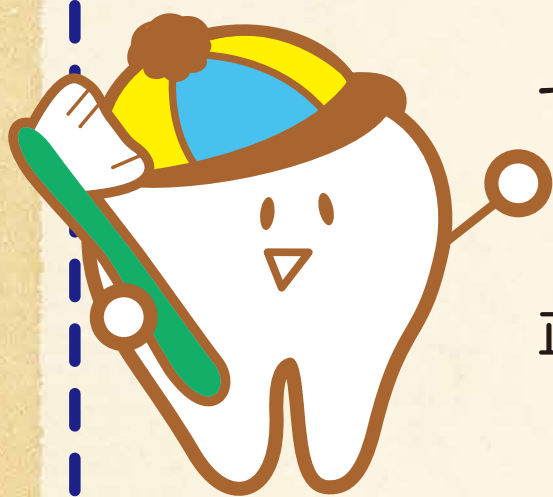
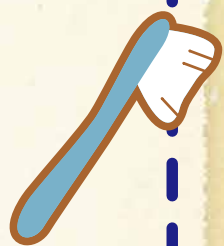
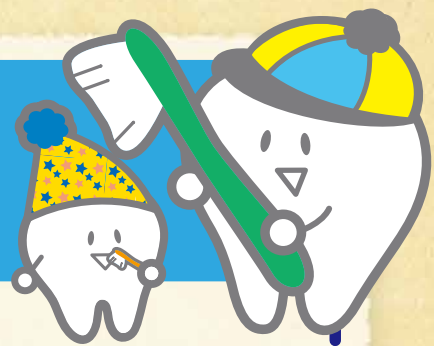
計算してみましょう。

そうすれば、8020を達成できるかどうかわかります。

この8020運動が提唱されたのが、1989年です。

その前年の調査で、その達成率はわずか7.0%しかありませんでした。
80歳で残っている歯の数の平均は、わずか4本でした。

年をとると、最後は総入れ歯になる。
まさに、そんなイメージの数字です。





そのイメージがあるので、今でも「最終的には総入れ歯になるから。」と仰られる方も、未だに多くおられます。

歯医者からすれば、非常に勿体無い話です。

★ 歯は頑張れば、もっと残るはず。その証拠に、2016年の調査の結果ではその達成率は51.2%です。

ここ30年ほどで、飛躍的に伸びています。

★ 今の時代、80歳でも二人に一人は20本以上自分の歯がある状態です。ここまで数値が良くなったのは、様々な要因が考えられます。

まずは何と言っても、国民全体の歯への関心が高まったことです。

例えば、歯を磨く回数についてです。今では1日2回あるいは3回が当たり前だと思います。

2016年の調査では1日2回の人49.8%
3回の人27.3%となっています。

★ ほとんどの人が1日2、3回磨いているという事になります。しかし、1969年には1日1回の人62.8%です。

★ 今では考えられませんが、ほとんどの人が1日1回しか磨いていませんでした。また、全く歯を磨かない人も8.1%もいたそうです。

単純に歯を磨く回数が多いから、歯への関心が高いとは言い切れませんがやはり歯を気にするから、磨く回数が増えたのでしょう。

もう一つは、医療技術の進歩です。

医療の世界は日進月歩で、新しい治療法や機材が続々と出てきます。

★ 昔は抜歯しかなかったものが、今では残せることも多くなってきました。

歯のことを諦めかけていた方、今は自分の歯が残る時代になってきています。

皆さんも、ご自身の歯を数えてみて、頑張って8020達成しましょう。

目指せ！
8020達成！！

